

幼稚園・学校の今後のあり方に係る意見集約(案)

大井町立幼稚園・学校のあり方検討委員会

1 大井町立幼稚園のあり方

(1) 相和幼稚園

*引き続き、相和幼稚園を維持していく

- 相和幼稚園を残すのであれば、田舎の幼稚園として残してはどうか。
- 相和幼稚園と相和小学校の施設を一つとし、幼稚園と小学校一体で運営したらどうか。

*相和幼稚園を他の施設に変更する

- 相和幼稚園の預かり保育は、ニーズにマッチしていない。0～2歳児が預けられる保育園又は小規模保育園として運営できないか。民間事業者にお願できないか。
- 民間のこども園ができるのであれば、相和幼稚園をこども園にすることは難しい。

*相和幼稚園の存続を検討する

- 相和幼稚園の通園区域を町内全域にしたことで相和幼稚園のよさが失われてしまうのであれば、相和幼稚園の存続はやめた方がよい。

(2) 町立3幼稚園

*引き続き、町立幼稚園3園を維持していく

- 幼稚園の入園を促すPRが必要ではないか。
- 今後町でこども園を運営していくのであれば、町では経験がないため近隣の取組を参考にし、十分な情報を得て対応をしていく必要があると考える。
- 今後も保育へのニーズが増えていくという状況の中、保育園又はこども園をつくる必要がある場合、こども園は受け皿が広がるといった点はあるが、運営上の難しさが考えられる。

*町立幼稚園数の適正化を考えたい

- 今後の町の財政的な負担を考えなければ、そのまま幼稚園を継続していくということも可能であるが、やはりお金の問題は出てくるため、それなりに整理をしなければならないといった現実問題が出てくるのではないか。
- 大井町の幼稚園の適正な園数はいくつか、何園が必要なのかを考える必要がある。民間のこども園が1園できるのであれば。
- 園を減らした場合は、園バスが利用できるような方策が必要。

*その他

- 民間のこども園ができるのであれば、いろいろな選択肢ができることは、結果として、保護者がふさわしい場所を選べるということは、とても良いのではないか。

2 大井町立小学校のあり方

(1) 相和小学校

*引き続き、相和小学校を維持していく

- 相和小学校の特色ある取組について、もう少しかみ砕いた内容で保護者にPRした方がよいと思われる。
- 取組がどうかというよりも、田舎の小学校に魅力を感じている。
- 子どもたちを育てるには、人数は関係ない。少人数で生かされる子どももいれば、大人数で学んだ方がよい子どももいる。
- 町や町外の不登校のお子さん等を集めて児童を増やす取組をしてはどうか。
- 保護者・卒業生という立場であると相和小学校は存続させたい。
- 相和小学校のさまざまな特色ある取組も、結果的に児童数に反映していない状況もあるが、相和小学校は相和らしさを出し、小規模校の良さを出していけばと思う。学校がなくなれば地域の過疎化が進んでしまう。
- 子どもたちが最高の学びを得られる学校でありたい。ほかのところから子どもを入れて、人数だけ増やせば良いとは思わない。

*相和小学校の存続を検討する

- 地域の力は大切で、他地区から人が入ってくることで良い面がある一方で、地域の力が弱くなることもあり、それでうまく回らないのであれば、相和小学校は存続させる意味がないと思う。
- 小規模特認校制度により、学区外からの児童は増えているが、全体的には減少傾向であり、そろそろ限界に来ているのかと思われ、そのあたりを踏み込んで考えなければならない時期かと思う。
- 相和幼稚園・相和小学校の特色のある取組を町広報でもかなりPRされてきたが、5年間の取組も限界があり、集まりきれっていない現状がある。
- 小集団でのプラス面やマイナス面があるが、今後学年で5名を割ってしまうと、多様な意見に触れる機会が弱くなってしまう。現実を考えると再編を考えなければならない時期にきていると考える。
- 今後、全児童数が一桁となってしまうと、存続が難しいかと思う。
- もし、相和小学校が廃校となる場合は、交通手段の確保を明確に示した上で進めてほしい。

(2) 町立3小学校の今後

*町立3小学校、全てで学校選択制を導入する

- 3校それぞれ力を入れるところを変え、選べれば活性化につながるのではないかと。学校それぞれが特色を出して、学校を選択できる手法もいいのではないかと。